SONY

3-860-223-01 (1)

ビデオカメラレコーダー 8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Video 8
Handycam

CCD-TR270PK

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

このマークは、ニカド電池のリサイクルマークです。

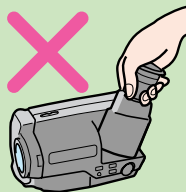
Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しています。
ニカド電池は、リサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

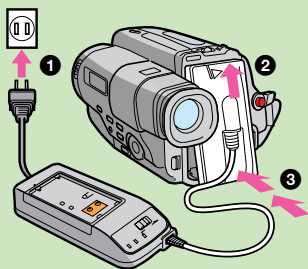
目次

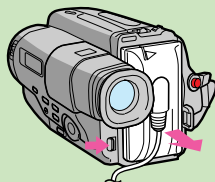
とにかく撮って見る

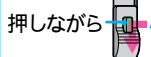
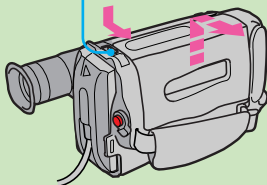
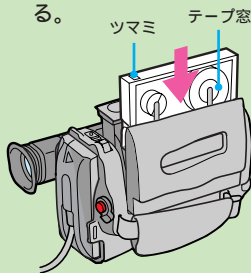
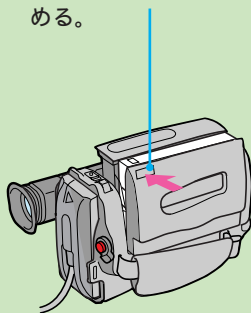
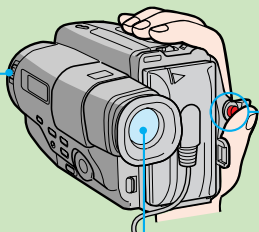
必要なもの

ビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

1 電源をつなぐ（26ページ）

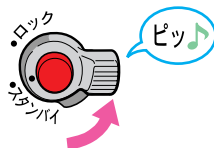
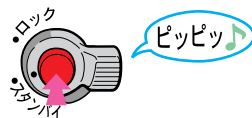
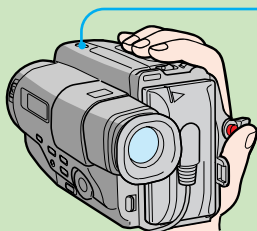
屋外ではバッテリーを使います →8ページ

コンセントへ

接続プレート
（カチッ、カチッと2回音が鳴るまで押しつけてしっかり固定する）

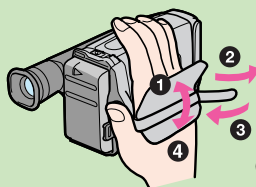
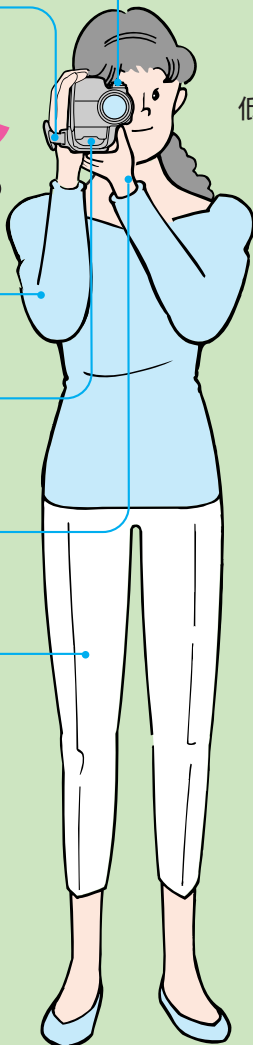
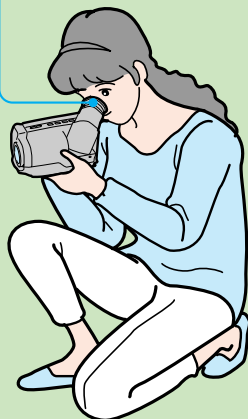
接続プレートをはずすとき
バッテリー取りはずしボタンを押してから、接続プレートの下部を手前に引く。

2 カセットを入れる（10ページ）

❶ **カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。**

❷ **テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを入れる。**

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**

3 撮影する（12ページ）

ファインダー
この部分に目を当てて画像を見ます。

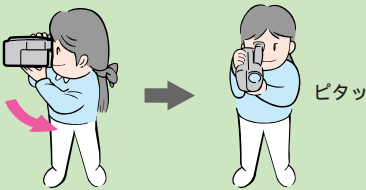
❶ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

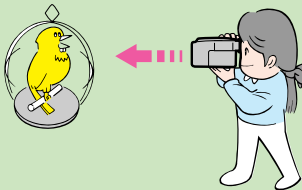
❷ **スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。**
ファインダーに画像が見える。

❸ **赤いボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

4 撮影できたか、ちょっと確認する（15ページ）

エディットサーチ⊖ボタンをポンと1回押す。
最後に撮影した場面を数秒間ファインダーで見られる。

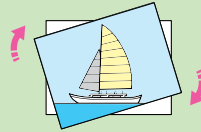
うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

撮影の基本

ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。

ズームは多用しない。

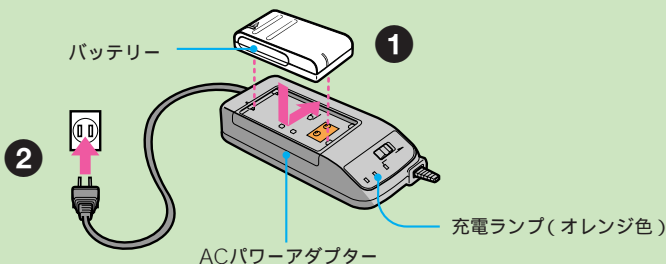
ズームレバーをW側（Wide：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。

安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。

- 三脚を使う。
  ネジの長さが6.5mm未満のものをお使い下さい。ネジの長い三脚ではしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

逆光を避ける。

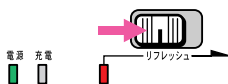
太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

準備1 バッテリーを充電する

バッテリーは充電して使います。

ご注意

バッテリーを使い切らずに充電をすると、容量低下の原因になります。
なるべく、リフレッシュ（放電）してから充電しましょう。

リフレッシュするときは

手順1でリフレッシュスイッチを矢印の方向へ押します。リフレッシュが終わると、自動的に充電が始まります。

充電確認マークについて

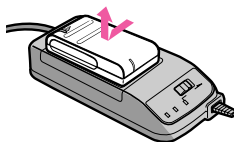
充電確認マークのついたバッテリー（別売り）を使うとき、充電済みなら「無印」側に、使い切ったら「●」側にすると、見分けがつき便利です。

1 バッテリーを押しながら右にずらしてつける。

2 コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプ（オレンジ色）が点灯する。充電が終わると消える。

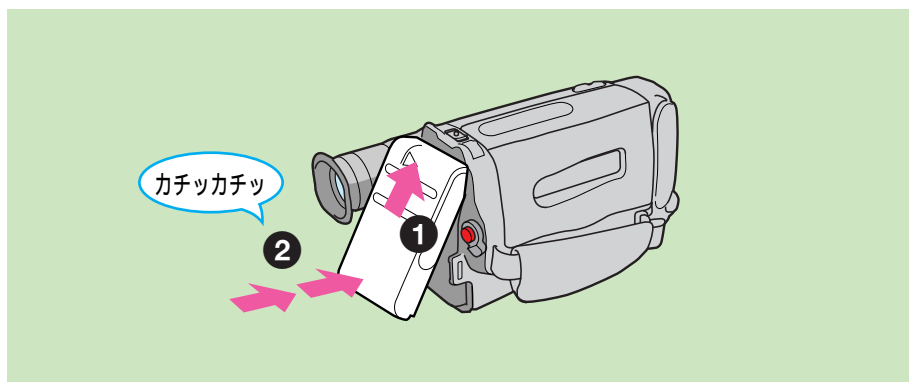
充電器から取りはずす

バッテリーを左にずらす。

リフレッシュ時間と充電時間の目安

バッテリー	リフレッシュ時間*	充電時間**
NP-33（付属）	2時間40分	55分
NP-65/C65	4時間50分	1時間35分
NP-L90D	リフレッシュ不要	2時間30分
NP-90/90D	10時間15分	3時間15分
NP-S88A	10時間30分	3時間15分
NP-S1	11時間20分	3時間25分

* リフレッシュ（放電）時間は最大値です。

** リフレッシュしてから充電に要する時間。

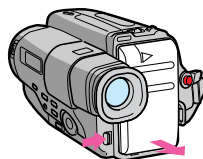
準備2 バッテリーを取り付ける

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

1 バッテリー取り付け面の上部にバッテリーの上部を入れる。

2 バッテリーを押し付けてしっかり固定する。

カチッ、カチッと2回音が鳴るのを確認する。バッテリーは本体に確実に取り付ける。

本体から取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押してから、バッテリーの下部を手前に引く。

使用時間の目安

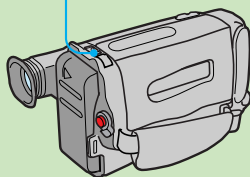
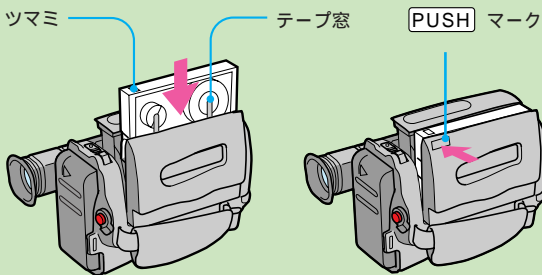
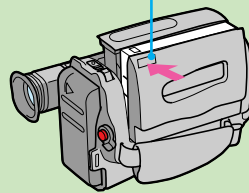
バッテリー	連続撮影時*	実撮影時**
NP-33（付属）	1 時間 25 分	45 分
NP-65/C65	2 時間 30 分	1 時間 20 分
NP-L90D	5 時間 20 分	3 時間
NP-90/90D	5 時間	2 時間 50 分
NP-S88A	5 時間	2 時間 50 分
NP-S1	5 時間 20 分	3 時間

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

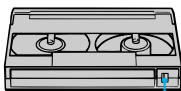
準備

準備3 カセットを入れる

本機はスタンダード8ミリ8方式で記録します。Hi8（ハイエイト）テープを使っても、8ミリ8テープを使っても、Hi8方式でなく、スタンダード8ミリ8方式で記録します（43ページ）。8ミリ8テープをおすすめします。

ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
  はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。

1 カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって開く。

2 カセットを入れる。

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

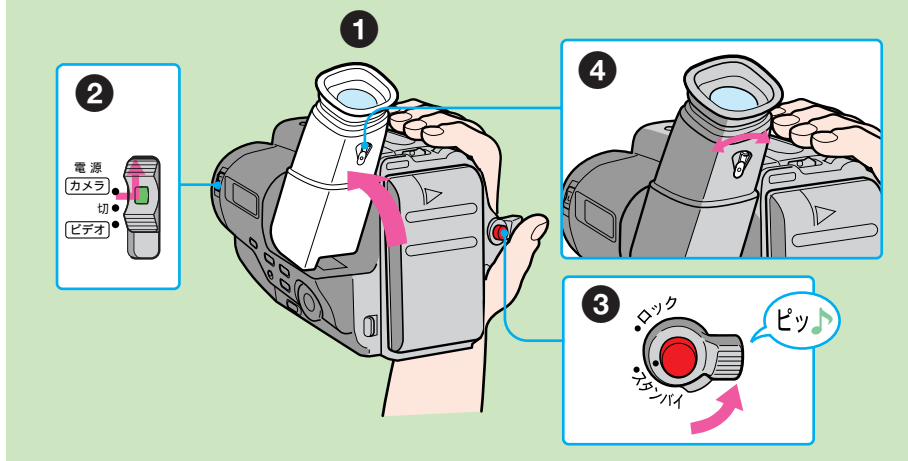
3 PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。

カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順2で取り出す。

準備4 ファインダーを調節する

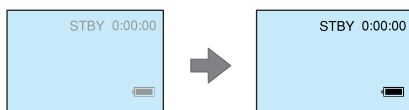
ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。

直射日光下では
採光窓によりファインダーの画像がより明るく見えます。このとき、ファインダー内の色が変化することがあります。

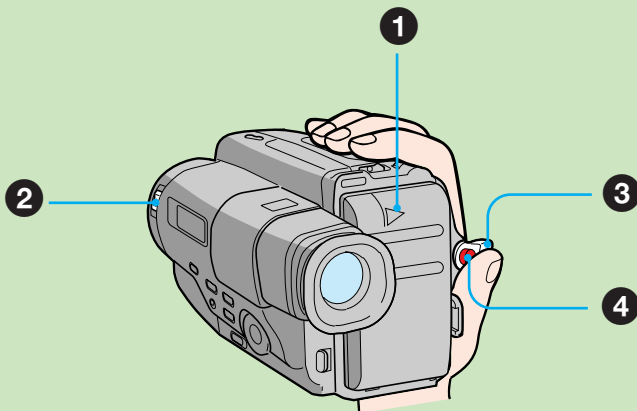
❶ ビューファインダーを上げる。

❷ 緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。

❸ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

❹ 視度調節ツマミを動かす。

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

- カラービューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。
- ファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

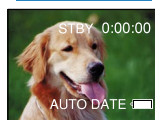
テープの最初から撮影するときは
15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1〜4」（8〜11ページ）をご覧ください。

❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

レンズカバーが開く。

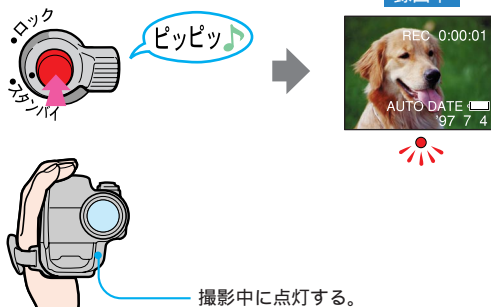
❸ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます（オートデート機能）
10秒間の記録が終わると「AUTO DATE」表示は消えます。
次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。
- 10秒以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- 日時を合わせ直したとき

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換はスタンバイスイッチを「ロック」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを１度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

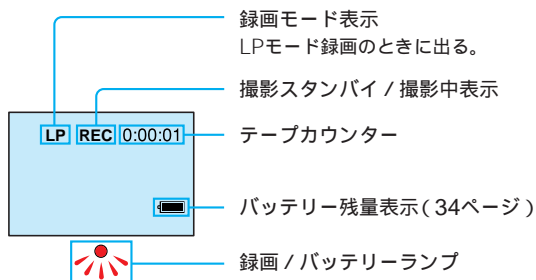
テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します。

長時間録画したいときは
録画モードスイッチを「LP」にします（25ページ）。録画時間がSP（標準）モードの2倍になります。

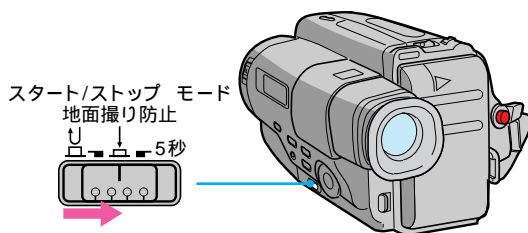
スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

次のページへつづく

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき
ファインダーに「●●●●●」が出て1秒たつごとに●が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには●がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

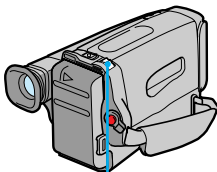
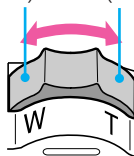
近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

スタート/ストップモードを選ぶ

：スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

地面撮り防止：
スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面撮りを防ぎます。

5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを動かす。

使いすぎると
見づらい作品になります。

撮影が終わったら

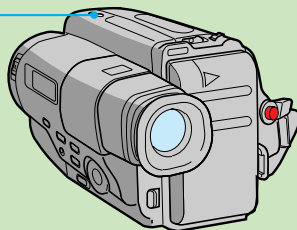
1 **スタンバイスイッチを「ロック」にする。**

2 **カセットを取り出す。**

3 **電源スイッチを「切」にする。**

4 **バッテリーを取りはずす。**

撮影内容を確認する

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

長い内容を確認したいとき
電源スイッチを「ビデオ」にして、ファインダーで再生画像が見られます。操作は17ページ「テレビで見る」の手順2から4までと同じです。

最後の場面を確認する－レックレビュー

[撮影スタンバイ中] に

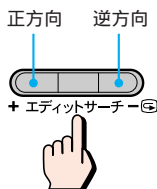
エディットサーチボタンの－側をポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。音は出ない。

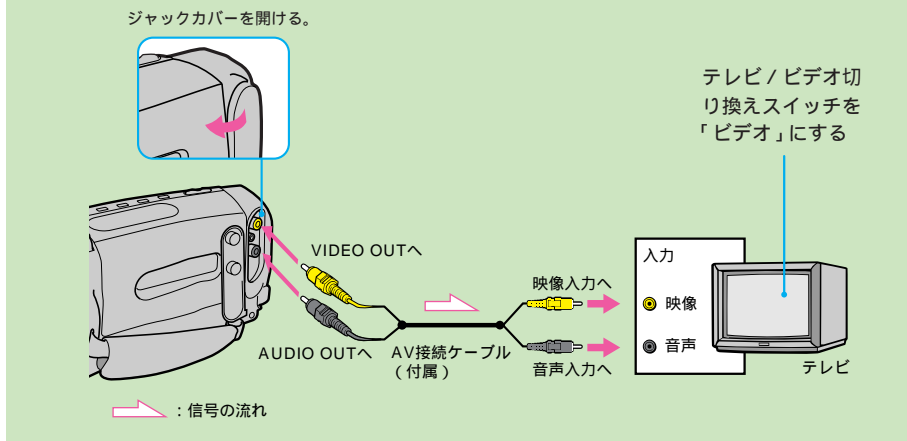
正方向または逆方向に再生する－エディットサーチ

[撮影スタンバイ中] に

エディットサーチボタンの再生したい側を押し続ける。

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

撮る

テレビにつなぐ

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（26ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

テレビ画面にカウンターなどの表示は出ません

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がふたつ（ステレオ）のテレビにつなぐとき

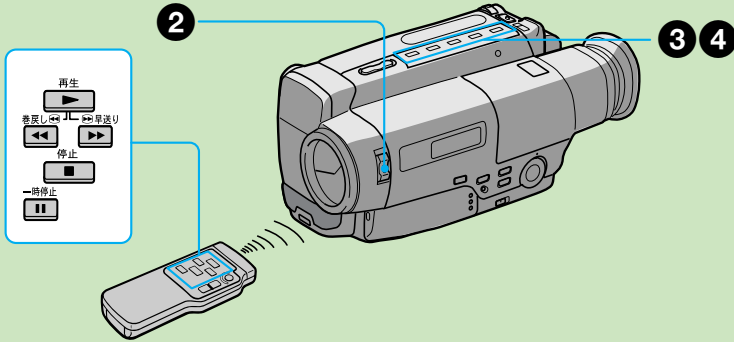
AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグをテレビの音声入力左（白い端子）だけにつなぐ。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターでつなぐ。

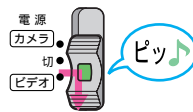
テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見ます。ファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

ご注意

- 電源スイッチを「ビデオ」にすると、レンズカバーは開きません。手で開けないでください。故障の原因になります。
- 外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

1 バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

2 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。

ビデオ操作ボタンが点灯する。

3 巻戻しボタンを押す。

巻き戻しが始まる。

4 再生ボタンを押す。

画像が映る。

次のページへつづく

変速再生中は
音声は出ません。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▷再生ボタンを押します。

いろいろな再生

止める

[再生中］に□停止ボタンを押す。

静止画を見る（スチル）

[再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中］に▶▶早送りボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中］に◀◀巻戻しボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

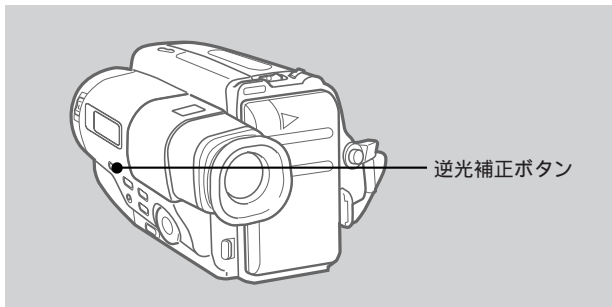
[再生中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中］または［巻き戻し中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき。
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき。
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。
被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

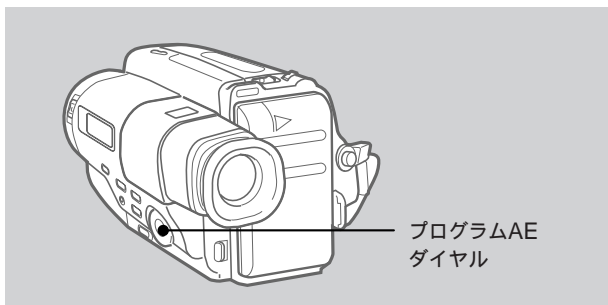
スポーツモード

運動会やテニス、スキーなどの動きの速い被写体のブレをおさえた撮影ができます。電車から外の風景を撮るときや、パンニングなどにも適しています。

高速シャッタースピードモード

ゴルフスイングなどの速い動きをくっきり撮れるので、スイングチェックなどに便利です。高速シャッターのため、鮮明な撮影には強く明るい光源が必要です。

夜景モード

夜景や花火、ネオンサインなど暗い場所で明るい被写体を撮るときに、色とびをおさえます。ある程度暗い場所での撮影に効果があります。

［撮影スタンバイ中に］

プログラムAEダイヤルを回して希望のプログラムAEモードを白丸マークに合わせる。

自動調節に戻すとき

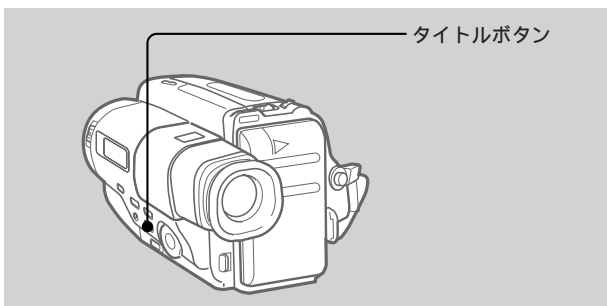
プログラムAEダイヤルを回して「オート」に合わせる。

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。
10種類のタイトルから内容にあったものを
選べます。

タイトルの表示順
HELLO! →
BIRTHDAY FUN →
MERRY XMAS! →
OUR HOLIDAY →
HOW PRETTY! →
THE WEDDING →
VACATION →
NO.1 →GREAT! →
THE END
「THE END」が表示されたあと、1回タイトル表示が消え、「HELLO!」に戻ります。

撮影中は
タイトルを選べません。

タイトル、日付、時刻表示は
同時には記録できません。

撮影の始めから入れるとき

❶ ［撮影スタンバイ中］に
タイトルボタンを繰り返し押して、入れたいタイトルを表示させる。
タイトルが点滅している間に繰り返し押して選ぶ。点灯に変わると決定です。

❷ **撮影を始める。**

❸ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

使いこなす

次のページへつづく

撮影の途中でタイトルを入れるとき

❶ ［撮影スタンバイ中］に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

❷ **タイトルが点滅から点灯に変わったら、タイトルボタンを押してタイトルを消す。**

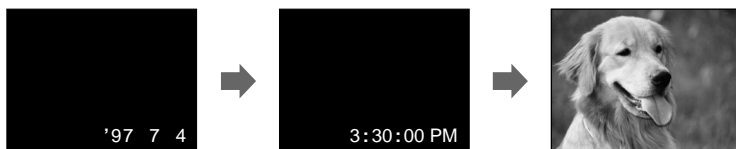
❸ **撮影を始める。**

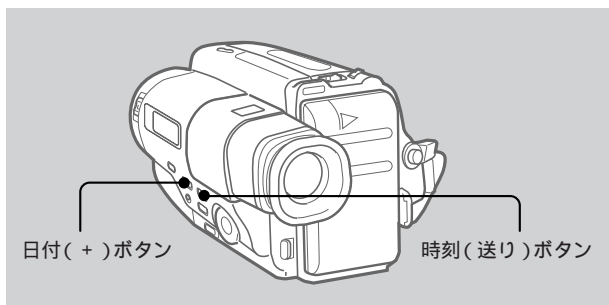
❹ **タイトルを入れたい場面でタイトルボタンを押す。**

❺ **タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。**

撮影中に手動で日時を記録する

オートデート機能（13ページ）の他に撮影中好きなところで日付・時刻を画像にかさねて記録できます。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

ご注意

- 「AUTO DATE」表示がファインダーに出ている間は、日付・時刻ボタンは働きません。
- タイトル、日付、時刻は、同時に記録できません。
- 手動で記録した日時は消せません。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に

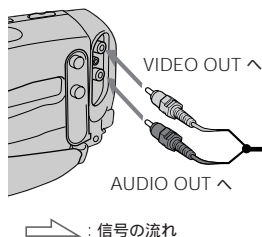
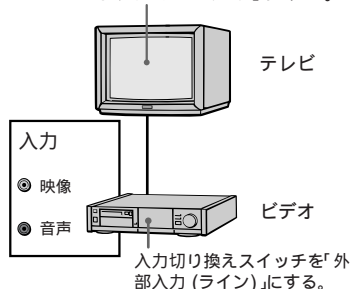
日付を入れる→日付（＋）ボタンを押す。

時刻を入れる→時刻（送り）ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

他のビデオへ録画する

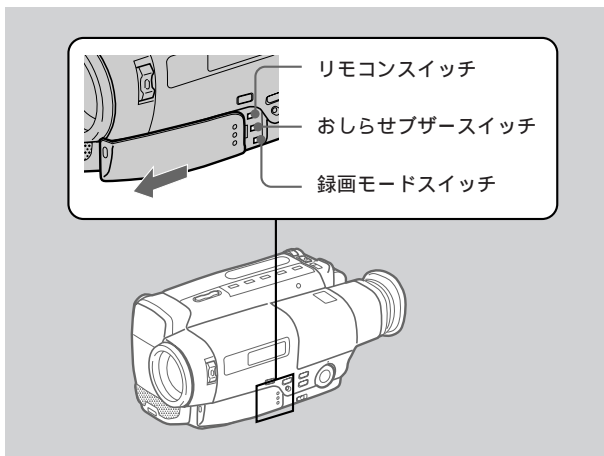
本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β

ファインシンクロエディット対応
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC端子（38ページ）をLANCケーブル（別売り）でつなげば、より精度の高い編集ができます。

本機を録画機として
他のビデオやテレビの画像を録画することはできません。

1. **本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。**
2. **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**
3. **本機のテープを再生し、他のビデオに録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。**
4. **録画機を録画一時停止状態にする。**
5. **本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。**

設定を変える

LPモードについて
本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。
他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

リモコンスイッチ

「入」にすると

付属のリモコンが働く。通常は「入」にする。

「切」にすると

リモコンが働かない。⏻端子は働く。他機のリモコンによって誤動作をするときなどに「切」にする。

おしらせブザースイッチ

「入」にすると

撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザー音が鳴る。通常は「入」にする。

「切」にすると

ブザー音が鳴らない。

録画モードスイッチ

「SP」にすると

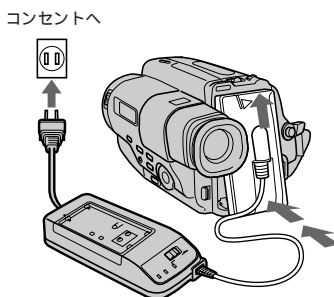
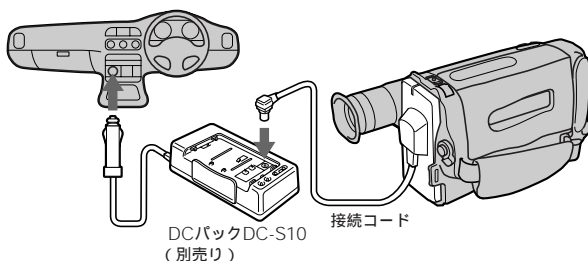
SP標準モードで録画する。通常は「SP」にする。

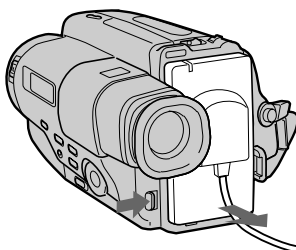
「LP」にすると

SPモードの2倍の録画時間で録画する。長時間録画したいとき「LP」にする。

バッテリー以外の電源で使う

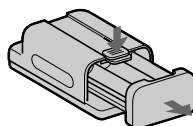
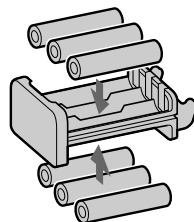
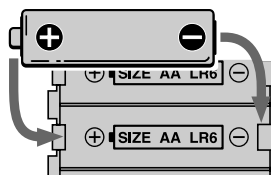
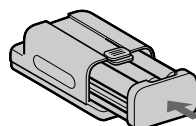
テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントや自動車の電源を使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

コンセントにつないで使う

自動車電源につないで使う

接続プレートを取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押してから、接続プレートの下部を手前に引く。

使用可能時間について
ソニー・エナジーテック製のアルカリ乾電池を使った場合は、実撮影時間は約90分、連続撮影時間は約150分です（約25℃にて測定）。寒冷地では使用できません。

乾電池を交換するときは
必ず本体からバッテリーケースをはずしてから交換してください。故障の原因となります。

アルカリ乾電池で使う

❶ 付属のバッテリーケースからホルダーを引き出す。

❷ 単3形アルカリ乾電池（別売り）6本を⊕と⊖の向きを正しく入れる。

❸ ホルダーをバッテリーケースに入れる。

❹ バッテリーと同様に、本機に装着する。

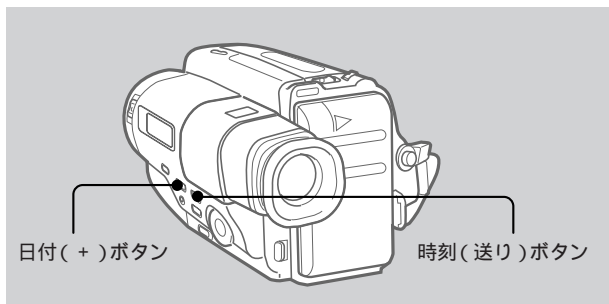
取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押してから、バッテリーと同様にはずす。

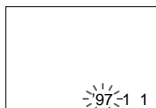
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

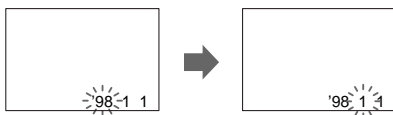
- 海外に行くとき。
- 電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に

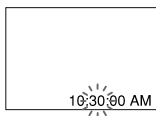
日付（+）ボタンと時刻（送り）ボタンを年の表示が点滅するまで、同時に押す。

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❷ 「年」を合わせる。

日付（＋）ボタンを押して「年」を合わせ、時刻（送り）ボタンを押す。日付（＋）ボタンを押すごとに1年ずつ進む。

年表示は次のように変わる。

❸ 手順2と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❹ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時に時刻（送り）ボタンを押す。時計が動き始める。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。

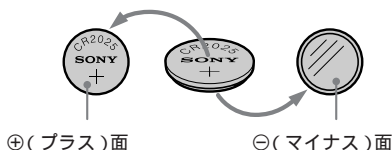
時刻を確認する→時刻ボタンを押す。

もう1度押すと消える。

ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

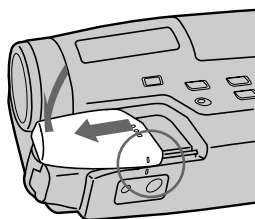
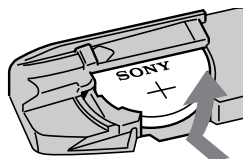
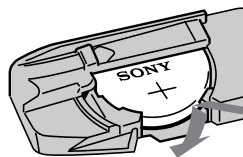
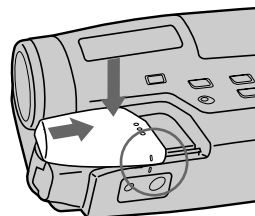
ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

電源スイッチを「カメラ」にすると5秒間ファインダー内でボタン型リチウム電池消耗表示 が点滅するとき。

ボタン型リチウム電池について

- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は

1年もたないことがあります。

1. **ボタン型リチウム電池ぶたをずらし、ふたと本体の目印を合わせてから、押してはずす。**

2. **ボタン型リチウム電池を押しながら、引き上げる。**

3. **新しいボタン型リチウム電池CR2025を⊕ (プラス) 面が見えるようにはめ込む。**

4. **ボタン型リチウム電池ぶたの目印を、本体の目印に合わせる。押してはめ込んでから、ずらして閉める。**

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはCCD-TR270PKテクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。

ファインダーに見慣れない表示が出たときは、34ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	12
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10、18
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	10
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	35
すぐに撮影が止まる。	スタート／ストップモードスイッチが「 」または「5秒」になっている。	スタート／ストップボタンを押すごとに撮影を始める／止めるようにするときは、「 」にする。	14
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度スタンバイスイッチを下げてから、もう1度上げる。	12
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	11
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	35
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	太陽光や白熱灯の影響で消えないことがあります。故障ではありません。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではない。	—	—

その他

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 •テープを巻き戻す。	17 18
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 •ビデオヘッドが汚れている。	•調整し直す。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	16 35

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。 •バッテリーがしっかり取り付けられていない。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。 •バッテリーの下を奥まで押し、しっかり取り付ける。	8、9 4、26 9
バッテリーの消耗が早い。	•温度が極端に低いところで撮っている。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	— •充分に充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	— 8 9
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	26 8、9
💧や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	35

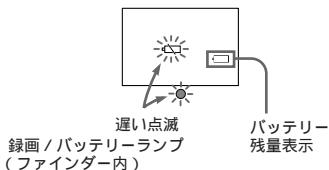
その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•リモコンスイッチを「切」にしている。	•「入」にする。	25
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	―
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	41
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	41
日付または時刻表示が「--:--」になる。	―	日付、時刻を合わせ直す。	28

警告表示

ファインダーには、次のような表示が出ます。
詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

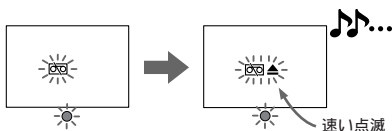
•表示は実際には白色です。

•♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

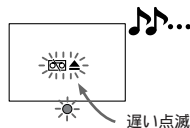
バッテリーが完全に消耗すると点滅が速くなる。

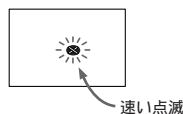
バッテリー残量表示について

(残量表示が▭になるとビューファインダーに マークが点滅する。)

テープの終わり

ボタン型リチウム電池の消耗／ボタン型リチウム電池が入っていない（30ページ）

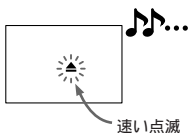
カセットが入っていない

カセット誤消去防止（10ページ）

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ（35ページ）

クリーニングカセットできれいにする。

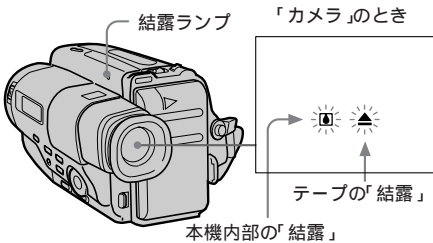
結露（35ページ）

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、結露ランプが点滅します。電源スイッチが「カメラ」のときには、ファインダーに警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。

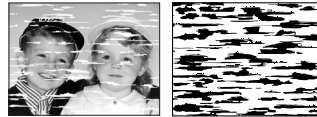
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れても結露ランプが点滅せず、カセットを入れても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内に⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

初期 → 末期

このような画像になったら、
クリーニングカセットをお使いください。

その他

結露が起こりやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは
長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン FM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画／再生時間	SPモード:2時間 LPモード：4時間（P6-120使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（P6-120使用時）
撮像素子	CCD固体撮像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー（カラー）
レンズ	13倍ズームレンズ f=5.3～68.9mm （35mmカメラ換算では 38～ 494mm） F1.8～2.8 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	3ルクス（F1.8）
被写体照度範囲	3～100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

映像出力端子	ピンジャック（1） 75Ω不平衡
音声出力端子	ピンジャック（1） 327mV（実効値）、 (47kΩ負荷時) インピーダンス　2.2kΩ以下
RFU DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V
LANC端子	ステレオミニミニジャック (Ø2.5)
マイク入力端子	ミニジャック 0.388mV（実効値）、低インピーダンスマイク用 DC2.5～3.0V、出力インピーダンス6.8kΩ（Ø3.5）

電源部、その他

電源電圧	バッテリーパック：6.0 V ACパワーアダプター：7.5 V
消費電力	3.8 W
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	−20℃～+60℃
最大外形寸法	115 × 103 × 200 mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約 730 g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 950 g *バッテリーNP-33、ボタン型リチウム電池CR2025、テープP6-30、ショルダーベルト含む。
内蔵マイクロホン	モノラル
付属品	ACパワーアダプター AC-S15（1） バッテリーパック NP-33（1） バッテリーケース（1） ショルダーベルト（1） 8ミリビデオカセット（1） キャリングバック（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）(2) AV接続ケーブル（1） ボタン型リチウム電池CR2025 (本体に装着済み)（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

ACパワーアダプター

電源	AC100～240V、50/60Hz
定格入力容量	23VA（充電100V時）、 28VA（VTR100V時） 28VA（充電240V時）、 36VA（VTR240V時）
定格出力	VTR動作時：DC7.5V、1.6A 充電時　　：DC10V、1.1A
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	−20℃～+60℃
最大外形寸法	約75 × 42.5 × 166 mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約420g
電源コードの長さ	約2m
本体接続コードの長さ	約2m

バッテリーパック　NP-33

電圧	6V
容量	800mAh
種類	Ni-Cd

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
”故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の“ ソニーご相談窓口のご案内 ”にあるお近くのソニーサービス窓口、CCD-TR270PKテクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-S15は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

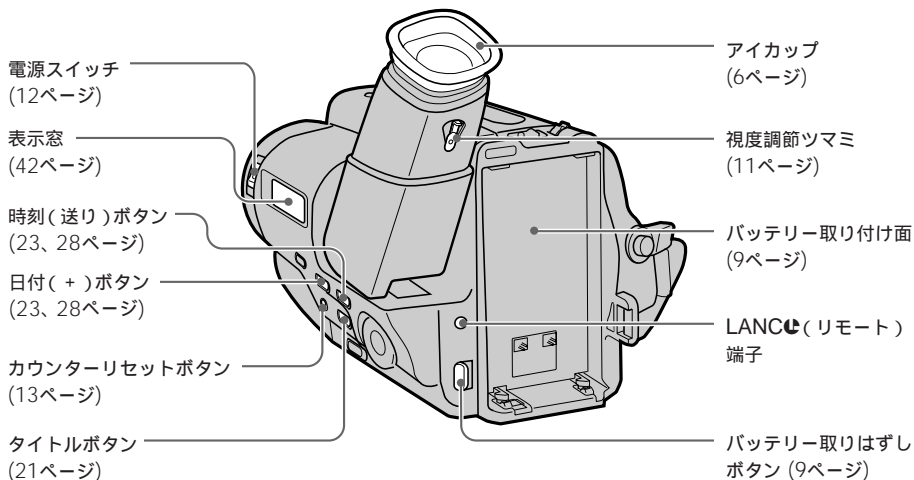
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

LANC (リモート) マークについて

は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ビデオ操作ボタン (18ページ)

停止　巻戻し　再生　早送り　一時停止

エディットサーチボタン
(15ページ)

レンズカバー
(12ページ)

内蔵マイク

リモコン受光部
(41ページ)

録画／バッテリーランプ
(13ページ)

ボタン型リチウム電池入れ
(30ページ)

結露ランプ
(35ページ)

採光窓
(11ページ)

ビューファインダー
(5ページ)

逆光補正ボタン
(19ページ)

スタート／ストップモードスイッチ
(14ページ)

プログラムAEダイヤル
(20ページ)

リモコンスイッチ
(25ページ)

おしらせブザースイッチ
(25ページ)

録画モードスイッチ
(25ページ)

キャリングバッグに入れるとき

その他

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

ズームレバー
(14ページ)

カセット取出しスイッチ
(10ページ)

ショルダーベルト取り付け部

スタート／ストップボタン
(13ページ)

スタンバイスイッチ
(12ページ)

グリップベルト
(6ページ)

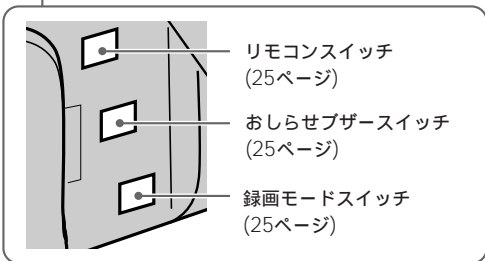
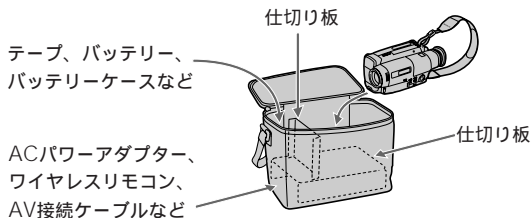
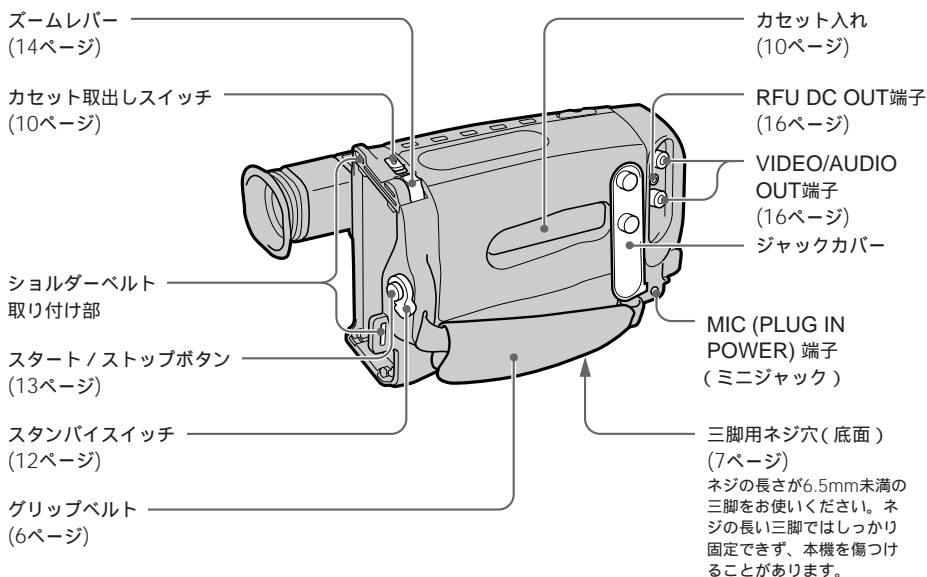
カセット入れ
(10ページ)

RFU DC OUT**端子**
(16ページ)

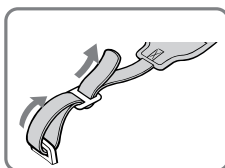
VIDEO/AUDIO OUT**端子**
(16ページ)

ジャックカバー

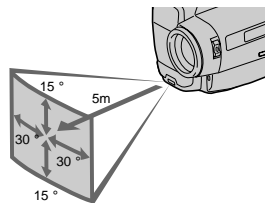
MIC (PLUG IN POWER) **端子**
（ミニジャック）

三脚用ネジ穴（底面）
(7ページ)
ネジの長さが6.5mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

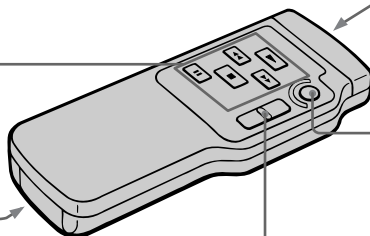
ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

ショルダーベルトの取り付けかた

別売りの外部マイクを使う場合
MIC (PLUG IN POWER) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC OUT端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

リモコンの操作範囲

操作範囲は室内で使用したときの値です。

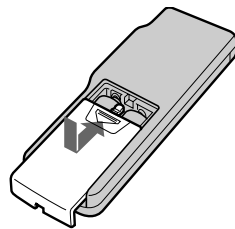
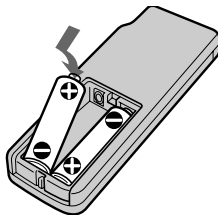
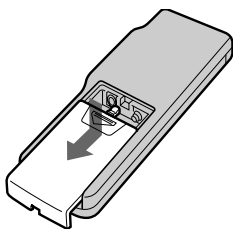
リモコン発光部

テープ走行ボタン
(17ページ)

スタート／ストップボタン
(13ページ)
撮影スタンバイまたは撮影中に使います。

乾電池ぶた (裏面)

ズームボタン (14ページ)

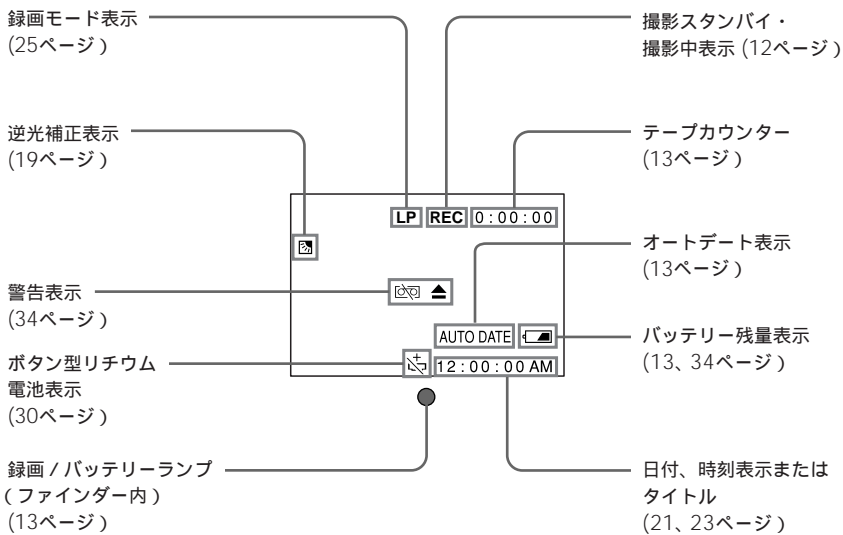
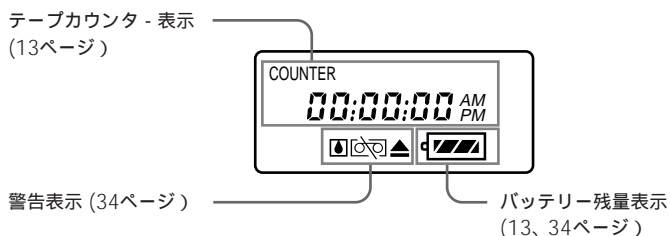
電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 **❷ 入れる。** **❸ 元に戻す。**

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

その他

各部のなまえ（つづき）

ファインダーの表示

表示窓の表示

用語解説

五十音順

カ行

逆光補正 …19ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ…12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイスイッチを上げ、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

視度調節…11ページ
ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

ナ行

ノイズ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …20ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には3種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド…35ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード…41ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3の3種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

アルファベット順

LP/SP（エルピーエスピー）モード …25ページ
Long（ロング） playing（プレイング） mode（モード）とStandard（スタンダード） playing（プレイング） mode（モード）の略でテープスピードモードの名称。
LPモードはSPモードの録画時間の2倍になる。

Hi8（ハイエイト）方式 …10ページ
スタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画されたテープはHi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生されません。本機はHi8方式対応ではありません。

NTSC（エヌティーエスシー）方式…37ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL（パル）やSECAM（セカム）方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

RFU（アールエフユー）アダプター…16ページ
ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル（国内仕様の場合）で再生できるようにするもの。

索引

こんなときはこの機能

撮影状況に合わせたい

明るい
　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→逆光補正（19ページ）
　背後に光があり顔が暗くなる
　　→逆光補正（19ページ）
暗い
　夜景、ネオンサイン、花火
　　→夜景モード（20ページ）
スポーツを撮る
　→スポーツモード（20ページ）
被写体の動きが速い
　ゴルフスイングなど
　　→高速シャッタースピードモード（20ページ）

画像をこうしたい

タイトルを出したい
　→タイトル機能（21ページ）

保証期間中の故障に関するお問い合わせは
CCD-TR270PK
テクニカルインフォメーションセンターへ
0120-86-4021（フリーダイヤル）

ご相談になるときは次のことをお知らせください
● 型名：CCD-TR270PK
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月日

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

Printed in Japan